

## 住民の信頼を担って駆ける — 消防演習 —

人口の動き ■人口 2,795人 (+2) 男 1,405・女 1,390 ■世帯数 777 (+1)  
(5. 5. 31現在) ■5月中のうごき □出生 1 □死亡 1 □転入 4 □転出 2

1993  
7月  
第300号

# お知らせ

## 村職員の募集

平成六年四月に採用する山古志村職員を次のとおり募集します。

〈職種及び採用人員〉  
一般事務 若干名

〈受験資格〉

山古志村に住所を有し(有することとなる者を含む)、昭和四十七年四月二日から五十一年四月一日までに生まれた者で、平成六年三月までに高等学校卒業または卒業見込みの者。

ただし、次のいずれかに該当する者は、受験できません。

- 一、日本の国籍を有しない者
- 二、禁治産者および準禁治産者
- 三、禁以上の刑に処せられ、その執行を終るまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの者
- 四、日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党、その他

の団体を結成し、またはこれに加入した者

〈試験の方法〉

第一次試験  
地方公務員としての必要な一般知識及び知能について教養試験として、択一式による筆記試験及び作文試験を行います。  
(注)教養試験は、高校卒業程度の内容で行います。

第二次試験

面接試験を行います。

〈試験日、試験場及び時間〉

第一次試験

平成五年九月十九日(日)

会場及び時間は申込者に通知します。

第二次試験

第一次試験の合格者に日時・会場を通知します。

〈合格者の決定〉

第一次試験に合格し、第二次試験を受けた者の中から合格者を決定します。

〈受験申込み〉

平成五年八月十九日(木)までに次の書類を添えて役場総務課に申し込んでください。

- (1) 受験申込書(用紙は役場総務課に用意してあります)
- (2) 写真三枚(たて四センチ・よこ三センチ)

※不明な点は、役場総務課にお問い合わせください。

## みなさんの声を村政に!

### 行政懇談会の開催

村民の皆さんと対話を図り、その声を村政に反映させ、開かれた村政の推進を目指し、次の日程で行政懇談会を地区別に開催します。

皆さんの考えや意見など発言は自由です。積極的なご参加をお願いします。

### 行政懇談会日程

月日	対象地区	会場	時間
7月19日(月)	種芋原	種芋原農産物処理加工所	20:00~22:00
20日(火)	三ヶ	池谷集落センター	20:00~22:00
21日(水)	虫亀	虫亀集落センター	20:00~22:00
22日(木)	竹沢	竹沢集落センター	20:00~22:00
23日(金)	東竹沢	梶金集落センター	20:00~22:00

行政側出席者

村長、助役、総務課長ほか

## 税のプラットフォーム

### 所変われば

「米に交われれば赤くなる」とは古くから言われる格言ですが、中国では純粋無垢、混じりつ気なしの色といえば「米」。つまり赤なのです。これが日本なら「白」ですね。「純白」とか「白無垢」など美しい言葉には白の文字が使われています。

もともと、中国文化の影響の強い我が国では、「赤ちゃん」のように中国イズムも併用しています。まさに、所変われば、というところでしょうか。

所変わればは、税制にもいえます。例えば、我が国では相続税に比べ、贈与税が高くなっています。これは、個人主義の徹底した欧米に比べ、日本では家族主義的な色彩が濃く、子へ財産を早く渡そうとする傾向が強いためといわれています。一方、ドイツでは、相続

### 意外に多い「水の事故」

#### 危ない子供の一人遊び

お父さん、お母さん  
お子さんから目を離さないでください。  
よその子供でも、危険な場所で遊んでいる  
こどもには一声注意の呼びかけを。

長岡警察署

税に比べ贈与税が安いのです。子に財産を譲りなさいというわけですね。国際社会との付き合い、このへんもインプットしておくべきです。

〈私たちの税金より〉



# 村議会

## 第2回定例会

### 補正予算など

#### 15案件を可決承認

平成五年第二回村議会定例会が六月十七日に開かれ、議案六件、同意一件、報告二件、諮問一件、発議五件がそれぞれ原案通り可決承認されました。

主な内容は次のとおりです。

#### 条 例

▼国民健康保険条例の一部改正  
保険料の府下限度額を四六万円で「五〇万円」に、低所得者の保険料算出の控除額が二万五千円から「二万円」にそれぞれ引き上げました。

#### 人 事

▼監査委員の選任同意

現監査委員の榊沢松雄さん(種芋原・六八歳)の再任が同意されました。任期は四年です。榊沢さんは今度で三期目となります。

▼人権擁護委員の推薦

現人権擁護委員の長島忠毅さん(虫亀・六七歳)の推薦に同意されました。任期は三年です。

#### そ の 他

▼請負契約の締結

種芋原地区圃場整備工事請負契約を六千五百四十四千円で、(株)石組と締結することが可決されました。

▼特別委員会の設置

総合体育館建設調査特別委員会の設置が可決されました。委員長に長島忠毅さん、副委員長に渡辺一治さんがそれぞれ選ばれました。

補 正 予 算

▼一般会計(補正第一号)

歳入歳出それぞれ七、八〇〇万円を増額し、二億二、三〇〇万円となりました。

歳出の主なものは次のとおりです。

農林水産業費で、六年度計画していた新農村地域定住促進対策事業の遊歩道、広場、便所を、国の予算配分を受けて繰り上げて行う建設費など、六、七七四万円を追加しました。

災害復旧費は、城山林道災害復旧工事費など七四〇万円を追加しました。

いっぽう歳入は県支出金二、六二二万円、繰越金一、五四三万円、村債二、五二〇万円などです。

▼特別会計(補正第一号)

簡易水道事業会計を二、〇五七万円を増額し、総額一億四、八五七万円に。老人保健会計を五四六万円増額し、総額は二億二、八六六万円となりました。

# 農業委員の選挙

山古志村農業委員会委員の任期が七月十九日で満了となります。選挙日程及び立候補できる人は次のとおりです。

■選挙日程等

◎選挙期日 七月十一日  
◎委員定数 十人

#### ■立候補できる人

- ① 山古志村農業委員会の区域内に住所を有する者。
- ② 年齢が満二十歳以上の者。
- ③ 十アール以上の農地につき耕作の業務を営む者及びその同居の親族または配偶者等が必要条件を満たす者。
- ④ 農業生産法人の組合員等で必要条件を満たす者。

※立候補について問い合わせは、選挙管理委員会に相談してください。

ましよう。

投票時間は、午前七時から午後六時までです。不在者投票は公示日(七月四日)から投票日の前日(十七日)までの間でできます。時間は午前八時三十分から午後五時まで。投票場所は役場一階選挙事務室です(印鑑持参のこと)。

また、入院中の人は県選挙管理委員会の指定した病院等で投票ができますので、早めに病院長等に申し出てください。投票用紙の請求は病院長が行ってください。開票は投票日の午後七時十五分から村民会館で、即日開票を行います。

※この選挙に関するお問い合わせは、☎五九一三三〇 山古志村選挙管理委員会へどうぞ。

# 衆議院解散・総選挙 7月18日投票日

六月十八日に衆議院が解散されました。これに伴い「第四十回衆議院議員総選挙」が、七月四日公示・十八日(日)投票という日程で行われます。

この選挙は、大きく変動し続けている世界の政治・経済状況の中で行われる選挙です。国内的にも政治改革など未解決の諸問題も多くあります。

今後、各政党・各候補者の政策等が次々とマスコミで発表されます。これらをもとに、的確な判断のうえ棄権せずに投票を行ってください。

ださい。

衆議院議員選挙の投票は、白色の投票用紙が配られます。これに候補者の氏名を記載してください。

なお、この選挙と同時に、最高裁判所裁判官の国民審査が行われます。黄色の投票用紙に裁判官の氏名が印刷されています。その中で「信任しない」裁判官だけに、その氏名の上欄のワクの中に正確に「X」印を記載してください。

「信任する」裁判官には何も書かなくてください。国民審査も大切な投票です。大事な一票を投票し

# ふれあい会館「あまやち」の概要

総事業費1億477万円、延べ563m<sup>2</sup>



供用は併設の施設完成後に

正面全景(4月撮影)右側に高齢者生産活動施設が併設される



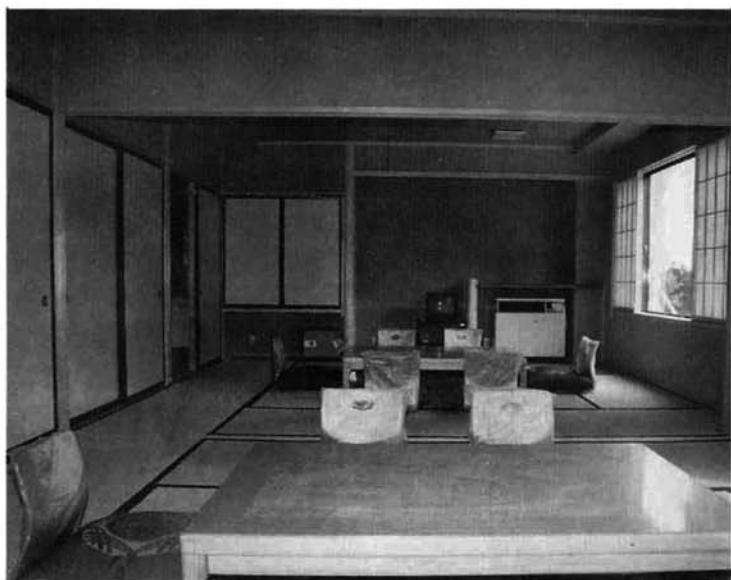
宿泊室(10畳)1階3部屋、2階5部屋



1階研修室(上部吹抜)  
60人収容可能、左側に宿泊室



2階通路左側に宿泊室が5部屋



1階会議室(20畳)  
中央で仕切ること可能



女子浴室(2階)

# 広報紙でみた村のおゆめ

掲載年月	記事
昭和43年5月	広報やまこし第1号発刊
昭和44年10月	第1回総合レクリエーション大会(会場 竹沢)
昭和45年11月	県道小千谷―栃尾線開通
昭和46年6月	“よいよーさ”「越後盆うた」レコード化
12月	テラックス校舎完成(山古志中学校)
昭和47年12月	テラックス保育所完成(種芋原)
昭和48年12月	県政現地懇談会
昭和49年11月	山古志音頭レコード化
昭和50年7月	闘牛場オープン(池谷)
11月	知事へき地訪問
昭和51年3月	東日本優秀演奏発表会池谷小優秀奨励賞に輝く
4月	第1回民俗芸能発表会
昭和52年4月	芹坪小、梶木小、閉校式
12月	第1回産業まつり
昭和53年5月	種芋原―長岡、梶金―小千谷バス開通
8月	6.26梅雨前線豪雨 被害総額8億円
昭和54年9月	若人交歓会
昭和55年5月	虫亀地内で大地すべり 被害総額6億円
7月	山古志中グラウンドナイター施設オープン
昭和56年2月	56豪雪 1月22日積雪4.69m
6月	山古志村のシンボル、村章の制定
昭和57年11月	第1回ゲートボール大会 竹沢優勝
昭和58年8月	スポーツ広場の造成工事始まる
昭和59年7月	新役場庁舎・村民会館業務開始
12月	不燃ごみ収集始まる
昭和60年4月	農改善及所山古志支所、36年余りの幕閉じる
10月	種芋原バトミントン少年団県大会優勝
昭和61年6月	全小学校で複式学級
昭和62年10月	西川に錦鯉放流
昭和63年5月	第1回古志の火まつり
平成元年7月	錦鯉ゆうパック出発式
平成2年1月	古志高原スキー場オープン
5月	「一万日のおぐら」五十嵐仁之助さん闘病記を出版
平成3年7月	保健福祉医療計画策定
8月	交通死亡事故ゼロ5,000日達成記念大会
平成4年4月	種中45年の歴史を閉じる 閉校式
8月	ふれあい会館「あまやち」
	虫亀地区簡易水道工事着工
12月	やまこし方言集完成
平成5年5月	第三次総合計画策定



150号のあかちゃん  
樺沢勝晃くん(種芋原・勝男方)  
現在は中学一年生。バレーボールのレギュラー選手を自指し頑張っています



150号の新郎・新婦の5組の中に  
星野松雄・せつ子さん(竹沢)  
“あつというまの……13年、子供も小学6年と4年になりました”



〈第200号 昭60・2・1〉  
生活の“足”を守る  
圧雪車同乗レポート



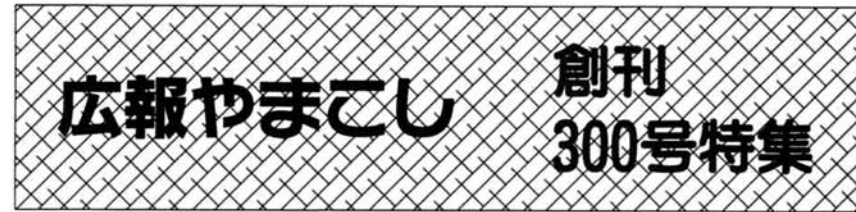
〈第250号 平元・4・1〉  
12人の新議員無投票当選  
地籍調査いよいよ開始



〈第50号 昭47・8・1〉  
新農業委員決まる  
2年目を迎えた放牧牛



〈第25号 昭45・5・1〉  
こんな事業をします  
1億七千万円の使いみち  
錦鯉指導研修所を建設



## 村民と村政をむすぶ……

「広報やまこし」第1号が昭和43年5月に発刊してから今月号で300号となりました。村民と村政を結びパイプ役として、編集、発行を重ねてきました。十分にこの役割を果たしているかどうか不安ですが、みなさんの励ましにより、ちょうど25年の年月が過ぎました。

今月号は今までの「広報紙」を振り返るとともに、これからも、みなさんに「読まれ、親しまれる」広報紙づくりに努めてまいりたいと思います。



〈第150号 昭55・12・1〉  
村の人口は3,508人  
(国勢調査概数)  
順調に進んでいます  
竹沢小学校舎新築工事



〈第125号 昭53・11・1〉  
道路交通法の改正  
違反点15点で免許取り消し



〈第1号 昭43・5・1〉  
第1回臨時村議会  
出稼労働者手帳の交付  
農業雇よう賃金決定  
男1,300円 女900円



〈第75号 昭49・9・1〉  
消防自動車購入  
山古志中グラウンド整備工事完了



〈第100号 昭57・10・1〉  
建設はじまる  
錦鯉センター  
広報やまこし発刊100号



### 凌くん

平成3年5月24日生まれ 哇上力・美和さん  
— 楢木 —

こんにちは、ぼくは元気いっぱいのです。ジャンパーとダイレンジャーが大好きです。お姉ちゃんとはいつもけんかしてるけど、ほんとうは一番大好きなんだ!!早く大きくなってたくさん友達と遊びたいな。みんな、よろしくね!!

### わが家の

### スター



### ふる里展で ふれあう

去る六月十日から十五日の六日間、新潟市の伊勢丹デパートで「にいがたのふる里展」が開かれ、県内の五八市町村が参加しました。この催し物は、農山村と都市との交流を通じて相互理解を深めるために実施されたもので、山古志村も昨年に引き続き参加しました。産業おこしによる産品やふるさとの手づくりの技、味などバラエティに富んだ特産品を持ち寄り販売しました。



山古志村も「こいこく、こくしよ」などの缶詰類、「こいの甘露煮・棒だら煮」などのパック商品、「ぞうり・木牛」などの民芸品の販売を行いました。また、どじょうつかみやわらぞうりづくり

の体験イベントを実施し、好評を得ました。各販売コーナーでは「にわか仕込み」の店員も見られ、自慢の特産品のPRや販売に緊張感を漂わせながらお客と接していました。

### 成長を願い

### 41頭を放牧



六月一日蒼峠牧場に放牧が行われました。

今年の放牧頭数は、親牛二頭、仔牛一八頭、種雄牛一頭の四一頭で昨年を八頭上回りました。素牛の高騰などにより、畜産農家の繁殖気運は高く、一戸平均五頭の放牧となっています。

四頭放牧した樺沢正利さん(種芋原・四七歳)は「秋まで放牧しておけば、ほぼ一〇〇パーセント

受胎するし、仔牛も約二〇〇キロ前後に成長し、立派な若牛に」と期待を語っていました。青々とした牧草を食べ牛たちは秋の下牧までには、それぞれ大きくなり成長することでしょう。

### 普及所から

### 農改コーナー

### 稲の生育

### 中後期の管理

#### 一 現在の生育状況

草丈：前年、昨年並み  
莖数：前年よりやや多いが  
年より少ない

●初期の低温により植え傷みが多発し分けが遅れたが、その後の好天により生育は回復してきています。穂肥管理、病害虫管理を適切に実施し、安定栽培に努めましょう。

#### 二 出穂期の予測

◎平年に比べ二日程度遅れる予測です。

①農業試験場気象感応圃にもとづく予測です。

②田植え日が五日ほど前後すると出穂時期が一日前後します。

※この予想は平野部の場合ですの

で山古志村では、この予想より四〜七日程度遅くなります。また、今後の天候により早まる可能性もありますので注意してください。

・出穂期の予測 (6月14日現在)	
品種	出穂期
越路早生	7. 31
トドロキワセ	8. 1
ゆきの精	8. 4
こがねもち	8. 8
コシヒカリ	8. 9

注)適用移植期

稚苗	5月5日~10日
中苗	5月10日~15日
成苗	5月15日~20日

#### 三 追肥

##### ①中間追肥

七月上旬(出穂前35〜40日)頃に10aあたりケイ酸カリ20〜40kg施します。根を健全に保つ効果があります。ワキの激しい田では特に施肥しましょう。

##### ②穂肥

一回目の時期は、コシヒカリで出穂前18日、トドロキワセ・ゆきの精で出穂前23日が目安です。チッソ成分で10aあたり1〜2kgが基準です。カリと併せて施肥しましょう。

#### 四 病害虫対策

##### ・いもち病

穂穂苗は発生源になりますので早急に除去しましょう。

穂いもち病は予防が基本です。出穂前と穂ぞろい期頃に粉剤散布するか、コラトップ粒剤を10aあた

### ゲートボール大会

### 竹沢Bが優勝

さる六月三日竹沢郵便局長杯を兼ねる、村ゲートボール連盟主催の大会が山古志中学校グラウンド



で行われました。

今年初の大会と、日ごろ練習を重ねて、選抜された九チームが参加しました。予選リーグ、決勝リーグと気合の入った試合が続き、竹沢Bと種芋原Bが同率首位に。得点数で竹沢Bチームの優勝となりました。

結果は次のとおりです。

- 優勝 竹沢 B
- 準優勝 種芋原 B
- 三位 竹沢 A

### 村老連の役員改選

### 会長に星野伸次郎さん

あき缶拾いなど積極的な奉仕活動を推進している。村老人クラブ

連合会の役員改選が行われ、会長に星野伸次郎さん(竹沢)、副会長に長島源佐さん(虫亀)と五十嵐正夫さん(梶金)、会計に米岡祐三さん(種芋原)がそれぞれ選ばれました。

### 健康コラム

今月の担当は  
内藤保健婦です。

### 糖尿病は

### 長い付き合いが必要

私達の活動の中で一番のメインイベントである総合健診も無事に

終わりました。結果待ちです。昨年より早く行われましたがみなさんはちゃんと受診されましたか?みなさんにとっては梅雨のじめじめしている頃よりもさわやかな時期で季節的にもよかったです。はいでしょうか。今年は一ヵ月健診の時期が早いので、後に続く血糖

り4kgを出穂前15日頃散布してください。

### 冷蔵庫の過信は禁物

### 保存適温は零度から5度

生ものは、冷蔵庫に入れておけば安心。——本当にそうなのか、私たちは冷蔵庫を過信してはいないでしょうか。ほとんどの細菌は、温度が低くなると増殖力は急速に衰えますが、摂氏十度くらいでは、徐々に増え続け、時間がたつにつれて食物を腐らせます。

また、摂氏零度になると、大部分の細菌は増殖しません。しかし油断は禁物です。低温菌群は、摂氏零度〜五度でも少しづつ増え、タンパク質や脂肪を分解します。ということでは、冷蔵庫の中でも低温菌は増殖できるわけですから、決して安心はできません。

細菌の数が「魚—グラム中一億(腐った状態)に増えるまでの日数は、摂氏零度では十一日ですが、摂氏七度になると四日、摂氏十五度でわずか一日です。

このように冷蔵庫は、決して食品を長く保存するためのものではなく、鮮度の低下を少しでも遅らせるために使っていることをお忘れなく。

検査、事後指導会、糖尿病教室と全てが早く回ります。

今までの健診の時期だと事後指導会のおと秋の忙しい時期に入るため、糖尿病教室などが健診結果が出てから二ヶ月も過ぎてから始まるのです。そんな頃に「あなたは糖尿病です。食事療法をしましょう」と言われてもピンとくるはずがありません。まして痛みや調子も悪くないのですから。

糖尿病は初めて診断された時が大切だと言われています。その時の意識づけで、その後の管理状況も変わってくると言っても過言ではありません。そのため、初めて糖尿病ですと言われた時点から、私たちが一緒になってかかわっていきたくと思っています。

糖尿病も上手に付き合い合えば怖い病気ではありません。治るとか治らないとかではなく、「いかにうまく付き合い合っていくか」の方法を一緒に考えていきませんか。

### お詫びと訂正

先月号の広報に次のような誤りがありました。

お詫びして訂正します。  
▼七ページのあかちゃん、ともひらとあるのはともひろちゃんの間違いでした。